

# 表彰事例紹介

## みいづ保育園

(甲州市)

農園での活動

■活動の場所 みいづ保育園の農園

■活動内容

- ・一年中毎日午前中は畑で遊び、畑の四季折々の姿から、自然の循環を身体で感じる

ある日、巨大に成長したバナナの木を伐採すると、子ども達は自発的に大きな葉を傘に見立てたり、地面に敷き寝転んだり、家を作ったり、食材に見立てお店屋ごっこをしたりと、創造した様々な遊びへとつながった

■子ども達の気付きや育ちなど

- ・自然を遊具に見立て、自然を素材として遊ぶことの心地よさや楽しさを、子どもは本能で知覚する
- ・子ども達が自ら生み出した遊びは、しなやかで持続力がある
- ・イメージを形に表現し、友だちや保育士等に共感されることで、発想力、創造力、コミュニケーション能力のほか、自己肯定感、社会性も高まるように感じる



## 自然体験活動を充実させたい保育園、幼稚園、認定こども園にアドバイザーを派遣します！

自然体験活動に関する安全対策や保護者への理解の深め方等の紹介、派遣先の保育所等の実態に即した実践指導等を行います。

子どもや保護者、保育・教育関係者の全員が楽しみ、共に成長できる充実した体験活動の実施に向けた良い機会となりますので、積極的にご活用をお願いします。

※ご利用の際には、県子育て支援局 子育て政策課に申請が必要となります。

<お問合せ先>

山梨県子育て支援局 子育て政策課 子育て支援担当  
TEL 055-223-1456



山梨県 自然保育 検索

## 山梨県自然保育活動表彰

# 表彰事例紹介

『本県の豊かな自然や地域資源を活用した

体験活動を取り入れる保育や幼児教育』

山梨県では、未来を担う子どもたちが、「本県の豊かな自然や地域資源を活用した体験活動」を通じ、自らを大切に思う気持ちや他者を思いやる心、そして郷土愛を育みながら健やかに成長できる社会の構築を目指しています。

県内の森林や野山などのフィールド、園庭や公園など身近な自然を活用した活動はもちろん、地域の伝統や文化、農業・林業などの作業と、それらに関わる人々を地域資源として捉え、保育所・幼稚園・認定こども園等が、それらの資源を活用し、子どもたちに自然と触れあう機会を提供する取り組みを推進しています。

今回受賞された施設は、他の施設の模範となるような活動を取り入れている施設です。受賞施設の取り組みをご紹介しますので、今後の活動の参考にしてください。

県内の子どもたちに、より一層充実した自然体験の機会が増えますように・・・

# 表彰事例紹介

地域の  
ふれあいを  
通じた活動

## 押原こども園

(昭和町)

■活動の場所 押原こども園の園庭、近所の田、畑など

■活動内容

- ・プランターでの米作り、稲の成長過程を観察
- ・地元農家の田んぼを活用させていただき、地域住民とのふれあいを通じた稲刈り、脱穀体験
- ・新米を釜で炊くための、薪割り、火おこし体験
- ・園の畑のサツマイモの収穫、焼き芋作り体験 など

■子ども達の気付きや育ちなど

- ・地域住民とふれあうことでコミュニケーション能力が向上
- ・身近な食材に対する興味、関心が芽生える
- ・稲の観察を通じ、どうすれば稲が上手に育つのか、探究心が強くなる（地元農家へ助言をいただきに伺うことも検討している）
- ・火おこしを通じ、着火までの行程、熱の伝わり方、米が炊き上がるまでの時間などに興味、関心を示す



雨天時なら  
ではの活動

## 青藍幼稚園

(都留市)

■活動の場所 宝の山 ふれあいの里ネイチャーセンター

■活動内容

- ・子ども一人ひとりによる遊びの創造、決定
  - ・芝生の傾斜面でのあそび
  - ・池の中の観察や感触遊び
  - ・たき火体験を通しての気付きと学び
- ・雨天時ならではの楽しみ方の発見
- ・体験後のふりかえりと学びの共有 など

■子ども達の気付きや育ちなど

- ・遊びを創造する力が養われる
- ・雨の中でも火がおこせることに、興味、関心を示す
- ・行動に困ったときは自ら発信し、自ら解決策を得ようとする
- ・友だちの気持ちに共感し、相手の立場に立って行動する
- ・共同性、道徳性、規範意識が芽生える



里山での活動

## 森のようちえん きらきら星 (富士川町)

■活動の場所 富士川町内の森林

■活動内容

- ・活動にプログラムは設定せず、危険性がなく、遊びに発展しやすいフィールドで、子ども達が創造した遊びを展開
- ・活動フィールドは主に、町内にある「広葉樹の森」、「針葉樹の森」、檜や桐などが植生している「混植の森」の3箇所を活用
- ・四季を通じて自然の移りゆく姿を五感で体感
- ・里山の斜面を登ったり、滑り降りたり、自然素材を使って工作やママゴトをしたり、やまぼうしや桑の実、キイチゴを採取したり、活動は日によって様々

■子ども達の気付きや育ちなど

- ・遊ぶフィールドによって、樹木の種類や植生が違うことを知り、季節ごとの移ろいを識別する
- ・友だちと自然の美しさを共有することで連帯感が醸成される
- ・自然を慈しむ気持ちが育ち、感情表現が豊かになる



園庭、田、畑  
での活動

## ポッポの家

(南アルプス市)

■活動の場所 ポッポの家の園庭、田、畑

■活動内容

- ・39年前の創設時から園庭にある「姫りんご」の収穫体験
- ・地域の方のご厚意により梅を収穫し、梅ジュースや梅干し作りを体験
- ・田では、田植え、稲刈り、脱穀を体験し、新米を釜で炊き食す
- ・畑では、季節ごとに旬な野菜を栽培
- ・収穫した野菜は、食べ方を子ども達による話し合いで決定し、子ども達が調理して食す
- ・その他、干し柿や味噌作りなど、年間を通じて「作って食べる」体験活動を実施

■子ども達の気付きや育ちなど

- ・食への意欲や食材に対する興味、関心が芽生える
- ・食物の成長サイクルや食材の旬な時期を意識する
- ・汗を流して栽培し、収穫し、それを調理し「おいしいね」と共感する喜びは、現場（保育士達働き手）のやりがいに繋がっている

